

令和5年(2023)6月 入域観光客数概況(速報)

66万3,400人
 対前年(R4)同月比 +21万4,900人、+47.9%
 ~6月としては復帰後5番目、対前年同月比で19ヶ月連続の増加~
 ※(R元年度)同月比 ▲20万4,800人、▲23.6%

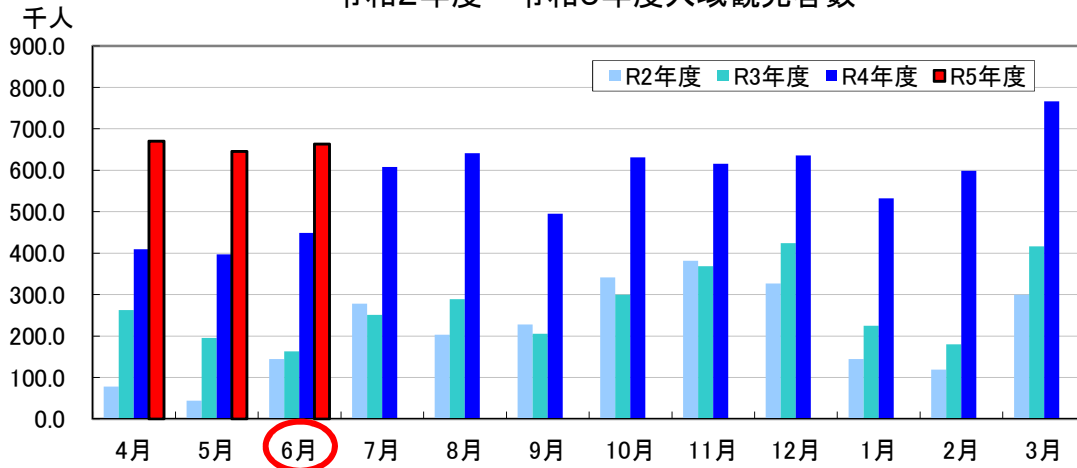
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	585,700人	448,500人	+137,200人	+30.6%	88.3%
外国客	77,700人	0人	+77,700人	皆増	11.7%
合計	663,400人	448,500人	+214,900人	+47.9%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等5,700人を含む。

令和2年度~令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

6月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、県内各地のハーリー大会等のイベント、6月中に計4回実施された日本船による那覇港発着クルーズ(フライ&クルーズ)等により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

7月は新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による増便・臨時便等があるほか、海洋博公園等で開催される花火大会等の大型イベントへの来訪も期待できることから、好調に推移すると見込まれる。

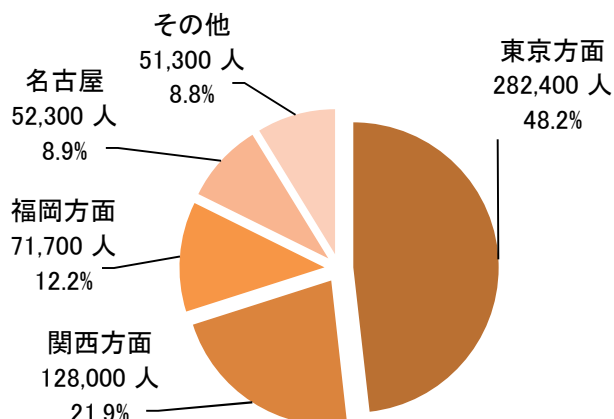
国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,400人	222,500人	+59,900人	+26.9%	48.2%
関西方面	128,000人	98,600人	+29,400人	+29.8%	21.9%
福岡方面	71,700人	55,800人	+15,900人	+28.5%	12.2%
名古屋	52,300人	41,600人	+10,700人	+25.7%	8.9%
その他	51,300人	30,000人	+21,300人	+71.0%	8.8%
合計	585,700人	448,500人	+137,200人	+30.6%	100.0%

※国内海路客8,400人含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和5年9月の公表を予定しています。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、全国旅行支援等による需要喚起や梅雨明け時期の週末需要を見込んだ航空会社による臨時便等があり、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。
7月は新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズンの到来となり、航空会社による増便・臨時便・季節運航(羽田ー久米島(7/14~8/31))等があることから、好調に推移すると見込まれる。

関西

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。
7月は新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズンの到来となり、航空会社による増便・臨時便(伊丹ー那覇/石垣/宮古、神戸ー那覇)等があることから、好調に推移すると見込まれる。

福岡

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。
7月は、上旬に九州北部を襲った記録的大雨の影響による旅行需要の低下が懸念されるものの、新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズンの到来となり、スカイマークによる福岡ー下地島路線の就航(7/14~8/31)等もあることから、好調に推移すると見込まれる。

名古屋

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。
7月は新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズンの到来となり、航空会社による臨時便・季節運航(名古屋ー宮古/石垣(7/14~8/31))等があることから、好調に推移すると見込まれる。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和5年9月の公表を予定しています。